

平成18年3月27日

各 位

会社名 株式会社紀陽ホールディングス
代表者 取締役社長 片山博臣
コード番号 8415 東証・大証1部
問合わせ先 グループ企画部長 米坂 享
(TEL 073-426-7133)

平成18年3月期業績予想修正ならびに子会社における特別利益の計上に関するお知らせ

当社の子会社である株式会社紀陽銀行における与信関連費用の増加ならびに特別利益の計上を要因として、当社の平成18年1月25日に公表した平成18年3月期業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成18年3月期連結業績予想の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

(1) 株式会社紀陽ホールディングス（連結業績予想） （単位：百万円）

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回公表予想 (A)	65,600	4,800	1,000
今回修正予想 (B)	76,000	1,000	1,600
増減額 (B) - (A)	10,400	3,800	600
増減率	15.8%	79.1%	60.0%

上記平成17年度の連結業績予想は、連結会計基準にもとづき、株式会社紀陽銀行の平成17年4月1日から平成18年3月31日までの事業年度の連結業績予想に株式会社和歌山銀行の平成18年2月1日（当社設立日）から平成18年3月31日までの事業年度の連結業績予想の合算によるものです。

(2) 株式会社紀陽銀行（連結業績予想） （単位：百万円）

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回公表予想 (A)	63,000	9,200	5,200
今回修正予想 (B)	73,400	2,500	3,600
増減額 (B) - (A)	10,400	6,700	1,600
増減率	16.5%	72.8%	30.7%

株式会社紀陽ホールディングスの単体業績予想及び当社の子会社である株式会社和歌山銀行の連結業績予想については、前回（平成18年1月25日）公表した以下の業績予想に修正はございません。

紀陽ホールディングス単体業績予想（平成18年2月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	平成18年3月期
経常収益	100
経常利益	15
当期純利益	6

和歌山銀行連結業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	平成18年3月期
経常収益	11,100
経常利益	10,800
当期純利益	11,200

2. 修正の理由

(1) 株式会社紀陽ホールディングス（連結）

株式会社紀陽銀行の連結業績予想修正に伴い、当社連結業績予想を修正いたします。

(2) 株式会社紀陽銀行（連結）

連結経常収益については、株式会社紀陽銀行において、有価証券（株式・投資信託等）の売却益等を計上したことから前回（平成18年1月25日）公表比104億円増加の734億円となる見込みです。

連結経常利益については、与信関連費用等経常費用が前回公表比170億円増加することに伴い、67億円減少の25億円となる見込みです。与信関連費用の増加は、株式会社和歌山銀行との合併に備え、株式会社紀陽銀行において、企業再生と不良債権の最終処理への取り組みをより一層加速・促進いたします。これにより紀陽フィナンシャルグループの将来の財務リスクに早期に対応し、財務基盤をより強固なものとしてまいります。

連結当期純利益については、特別利益として退職給付信託返還益約90億円計上（下記参照）することにより、前回公表比16億円減少の36億円となる見込みです。

〔退職給付信託返還益について〕

株式会社紀陽銀行は将来の退職給付に備えることを目的として退職給付信託を設定しておりますが、株式市況の回復等による資産運用の大幅な改善に伴い、退職給付信託を含む年金資産が退職給付債務に対して大幅な積立超過の状況にあることから、退職給付信託の一部を解約することといたしました。

退職給付信託の一部解約日（予定）：平成18年3月29日

返還額（予定）：約140億円

損益に影響を与える額

平成18年3月期の株式会社紀陽銀行の単体・連結決算において、退職給付信託返還益約90億円を特別利益に計上いたします。

3. 子銀行の資本増強について

本年3月、当社は、財務基盤の増強を図るため252億円の資本調達を行いました。その調達資金をもって、子会社である株式会社紀陽銀行及び株式会社和歌山銀行に対して以下のとおり出資を行います。今回の資本増強により、平成18年3月末の自己資本比率については、平成18年1月25日に公表のとおり、株式会社和歌山銀行（連結）は8%程度、株式会社紀陽銀行（連結）は8.5%程度、株式会社紀陽ホールディングスの自己資本比率は9%程度となる見込みです。

(1) 株式会社紀陽銀行の増資

増資額 80 億円

資本増加日 平成 18 年 3 月 30 日 (木)

(2) 株式会社和歌山銀行の増資

増資額 90 億円

資本増加日 平成 18 年 3 月 30 日 (木)

既に公表のとおり、当社を中核とする持株会社体制のもと、株式会社紀陽銀行と株式会社和歌山銀行は経営統合によるシナジー効果の早期実現に向け、平成 18 年 10 月 10 日に合併を予定しております。

今後は、更なる経営の効率化を図り、安定した収益の確保と更なる拡大を図るとともに、強固な財務基盤を構築し、充実した総合金融サービスの提供を行う地域金融グループ「紀陽フィナンシャルグループ」として、地元中小企業金融の円滑化や事業再生等リレーションシップバンキングの機能強化を図り、地域経済の発展に努めてまいります。

以 上